

# 平成27年度 みらいホーム 事業実績報告書

## 1、はじめに

平成27年度は新規ユニット花の樹の安定が大きなテーマであったが、4月に開設以降、8月に7名全員が揃い大きな混乱もなく、開設初年度順調にスタートを切ることが出来た。

ホーム全体の入居者は4ユニット22名となり、内3ユニットの4名が365日ホームで生活をしている。また、その他2名が定期的に週末にホームを利用しており、休日の日中支援を行うケースが増加した。休日や日中の時間帯にホームの支援が必要となる傾向があり、ホームの生活拠点としての役割は今後ますます重要性を増してくると考えられる。他の社会資源の活用と組み合わせ、入居者が安心して生活できるための支援体制を整備していく必要がある、職員間及び他の関係機関との連携強化に取り組んできた。

運営資金面においては、ユニットを増設したことによりスケールメリットが見られたが、東京都の補助金が運営費に占める割合ははまだ3割と不安定な自治体の補助金により支えられている現状であり、24時間365日支援を行なうには大きく不足する状況は変わらない。引き続き運営費の試算をしながら公的資金の動向を注視していく必要がある。

平成27年度は、2名の方がグループホームを退居し、単身生活に移行した。それに伴い、新規入居者の募集を行ったところ募集人数を大幅に上回る9名の応募があり、グループホーム利用に対するニーズが高くなってきていることが伺えた。今回は、男性限定での募集であったが、現在複数の女性利用者からもホーム開設の希望を受けているほか、家族機能の急激な低下により、グループホームの入居の必要度が一気に上がり、緊急的に対応したケースもあり、居住の場の確保が当法人のみでなく地域全体の大きな課題であるといえる。

住み慣れた地域での生活を希望する利用者のニーズに応えるためには安心して生活できる居住の場の確保は絶対条件であり、その質と量の確保をどのように行なっていくのか、まだ先行きが見えないが、目前の一つひとつのニーズに向き合いながら取り組んでいきたい。

## 2、事業主体

- 1) 施設名 みらいホーム
- 2) 事業種別 共同生活援助
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町7-5-33
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 22名
- 6) 利用現員 22名

構成 男性17名、女性5名 (平成28年3月31日現在)

ユニット	定員	現員
アンダンテ	4名	4名 (内男性4名)
クローバー	5名	5名 (内男性2名、女性3名)
藤ハウス	6名	6名 (内男性6名)
花の樹	7名	7名 (内男性5名、女性2名)

- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成18年2月1日
- 9) 職員 28名 (平成28年3月31日現在)

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現の支援。  
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。  
安心と希望の持てる生活。

## 4、事業内容

- 1) 入居者の支援について

(1) 基本方針

- ① 安定した日常生活の保障
- ② 入居者一人ひとりの主体的な生活の支援
- ③ 入居者の相談支援
- ④ 安心できる将来への支援

(2) 支援内容

- ① 居室の提供
- ② 食事の提供
- ③ 洗濯、掃除等の生活支援
- ④ 健康管理
- ⑤ 日中活動（福祉サービス及び職場等）との連絡、調整
- ⑥ 入浴等生活行為の支援
- ⑦ その他日常生活に必要な支援

(3) 支援状況

・アンダンテ

4名中1名が365日ホームで生活している。本人の意向を基に、通所先及び親族と連携し、郵便物の確認や各種届出の変更手続きのサポートなどを行った。他2名の入居者については、日々の小遣い管理や日用品の買い物などをホーム職員が本人と確認しながら行った。

・クローバー

入居者、家族の希望により、5名とも週末は自宅に帰宅している。他ユニットと比較すると、入居者全員が40歳以上であり、入居者の高齢および家族機能の変化に伴い、通院の付添、日中時間帯の支援、入浴支援（洗髪等の介助）、服薬管理などの生活支援の割合が高かった。今年度、家族の体調不良により、1名が約1か月間、週末および休日の日中利用を行った。家族からの引き継ぎにより、定期通院先への通院、普段利用している美容室や歯科通院の付き添いを行った。同じ方の長期的な週末利用は今回が2回目であり、前回利用と比較すると、環境の変化を受け入れ日常生活を送っていたように感じた。今後も引き続き家族に協力をお願いしながら、いずれ訪れる自宅からホームへの生活拠点の変更に対応できるよう引継ぎを行っていききたい。

・藤ハウス

6名中1名が365日ホームで生活している。今年度2名の入居者が単身生活のため退居し、新たに2名が入居した。また、その他週末利用の頻度が高くなった方が1名おり、生活環境の変化による本人の不安な気持ちに寄り添えるように職員間で支援内容の共有を密に行った。また、ホーム入居と同時に運動不足と食事コントロールの不十分さが重なり新規入居者の体重を大幅に増加させてしまった。健康および食事管理について通所先事業所と連携を図り継続して体重減少に取り組んでいる。

体調不良時の通院の付添い、日中時間帯の支援、買い物の付き添いなどを家族や成年後見人と協力の上、これまでと同様に積極的に行った。

・花の樹

7名中2名が365日ホームで生活している。訪問看護や通院同行、移動支援などを利用している入居者が多く他事業所との連絡や情報交換などを密に行った。

(4) 個別支援計画の作成・充実

個別支援計画及び生活マップを作成した。生活スタイルや本人の状況の変化により、必要に応じて見直しを行った。

5、重点課題に対する評価

- 1) 新規グループホーム「花の樹」の事業を安定させる

4月より順次入居者の生活がスタートし、8月に7名全員が揃った。家族、関係機関と連携をとりながら、職員間で支援状況の共有を図った。新しい生活への移行は大きな混乱なくスムーズに行えた。

## 2) 支援体制の整備

ユニットの増加に伴い職員数が増えたこと、また、新規採用職員を複数ユニットの所属にしたことで支援体制が不足しているユニットに効率的に職員を配置することが出来た。職員採用が計画通りに進まなかった状況においても、他ユニットより支援にあたるなどし、支援体制を補完することができた。

## 3) 365日支援体制の課題整理とその対策

全ユニットの入居者が365日利用した場合の運営状況を再試算した。今年度ユニットが1か所増えたことによるスケールメリットにより経営状況が改善された。また、年度途中で22名中8名の障害支援区分が上がったことで365日開所した場合でも、赤字収支とならず運営が可能であるとの試算結果となった。しかし、全ユニットの入居者が日中支援も必要となった場合には、年間で約1,000万円の赤字収支となる見込みである。

## 4) クローバーの移転について

複数の候補物件の検討を開始したが、現時点で具体的な物件の確保には至っていない。

## 6、バックアップ支援

バックアップ施設である夢の樹みどりおよびワークセンター夢の樹より担当職員が月に1回以上巡回し入浴支援や食事を一緒にとるなどした。また、小平第二みどり作業所からも巡回担当者が1名配置され主に入居者との関係づくりを中心に行った。今年度は巡回職員との振り返りを行うことができず入居者状況の把握や支援内容については個別に確認を行った。

また、参加可能な入居者は施設の行事に参加し余暇活動の幅を広げた。

## 7、会議等

各ユニットの職員会議を月1回実施し、法人全体の運営状況や方針、また、日常支援の検討や意見交換等を行った。特に、日々の業務を少人数で勤務に当たることの多いホームにおいては、この会議で支援内容を共有することは重要なことであった。

## 8、関係機関との連携

### 1) 家族との連携

体調の変化や日用品費および衣類等の購入に関し、必要に応じて家族へ連絡を行い入居者の意向に即した支援を行うよう努めた。新規開設の花の樹については、開設当初は職員側の伝達漏れや連絡の聞き間違いによる利用予定日の誤りなどが生じたケースがあった。混乱が生じないように連絡窓口を一本化するなどの対策をとり改善することが出来た。

### 2) 日中活動先および会社との連携について

福祉サービス事業所と連絡を取り合い、体調管理、日常の様子等について情報の共有を行った。また、一般就労を行っている入居者については、就労支援センターほっとと連携し、会社との情報共有を図った。

### 3) GH・CHネットワーク小平の会

グループホームの運営に関わる市内9法人の担当者が集まり、今年度は5回連絡会を実施した。各ホームの見学会、近況報告会、事例検討などの情報交換を行った。また、小平市担当課からの依頼により消防設備設置状況一覧の作成を行った。

## 9、入居者利用状況

- |              |        |
|--------------|--------|
| 1) 入居者延人員    | 5,622人 |
| 2) サービス実施延日数 | 1,383日 |

- 3) サービス実施日数 366日  
 4) 一日平均利用人員 15.4人

ユニット	利用者延人員	実施日数	一日平均利用人員
アンダンテ	911人	366日	2.5人
クローバー	1,446人	315日	4.0人
藤ハウス	1,484人	348日	4.1人
花の樹	1,781人	354日	4.9人
合計	5,622人	1,383日	15.4人

10、入居者状況（平成28年3月31日現在）

1) 年齢

- ・20歳以上30歳未満 6名
- ・30歳以上40歳未満 6名
- ・40歳以上50歳未満 9名
- ・50歳以上 1名

ユニット	20代	30代	40代	50代
アンダンテ	1名	1名	2名	
クローバー			4名	1名
藤ハウス	1名	3名	2名	
花の樹	4名	2名	1名	
合計	6名	6名	9名	1名

2) 障害支援区分

- ・区分2 2名
- ・区分3 10名
- ・区分4 2名
- ・区分5 7名
- ・区分6 1名

ユニット	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
アンダンテ	2名	2名			
クローバー		2名	1名	2名	
藤ハウス		3名	1名	2名	
花の樹		3名		3名	1名
合計	2名	10名	2名	7名	1名

3) 居住状況

管内居住 18名 管外居住 4名

11、職員配置（平成28年3月31日現在）

1) 職種別

管理者 1名(兼務)、サービス管理責任者1名(兼務)  
 世話人 15名 内常勤 3名、非常勤 12名(常勤換算7.7)  
 生活支援員 12名 内常勤 1名、非常勤 11名(常勤換算3.9)  
 合計 28名